



子どもたちと一緒にテープカット

「岩谷堂小放課後児童クラブがオープン」

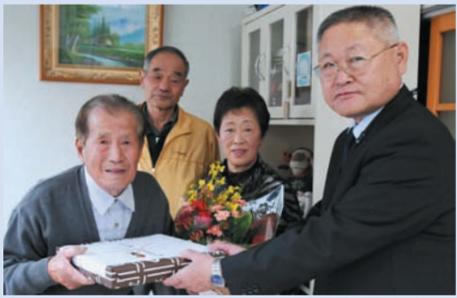
岩谷堂小学校の放課後児童クラブの開所式が4月2日、児童や関係者ら約100人が出席し、同校の敷地内にある専用棟で行われました。小沢昌記市長のあいさつに続きテープカットが行われ、新たな子どもたちの集いの場の開設を皆で祝いました。同施設はニチイ学館（本部東京都）が指定管理者となり、指導員8人で運営されます。



園児たちがイベント列車を出迎えました

「いわての観光キャンペーンが始まる」

国内最大規模の大型観光企画「いわてデスティネーションキャンペーン」が4月1日、開幕しました。水沢駅では、イベント列車の出迎えや奥州はつとの無料配布を実施。列車の乗客らは出迎えに笑顔で応えていました。同キャンペーンは6月まで開催され、県内各地でイベントが行われるほか、記念列車やSLが運行されます。



お祝いの言葉に、にっこりほほ笑む勇次さん

市は4月に満百歳を迎えた3人に記念品を贈り、長寿を祝いました。佐藤勇次さん（江刺区伊手字荒谷）は27歳で故・イセさんと結婚。4女をもうけ、孫6人に恵まれました。13歳から鉱山で働き始め、浜松、長野、福島などへ出稼ぎに行きました。旅行や山登りが好きで、「高い山には大体登ったけれど、富士山はとても楽しかった」と語ります。お刺身とコーヒーが好物という勇次さん。長寿の秘訣は、好奇心旺盛



お祝いの席に着物で登場したセキさん

盛な性格と、毎日畑へ出かけて体を動かしていることです。浅沼セキさん（江刺区伊手字新田）は東和町に生まれ、22歳で故・義忠さんと結婚。2男1女をもうけ、孫4人、ひ孫9人に恵まれました。義忠さんが早くに亡くなり、女手1つで子どもを育てました。りんご栽培、養蚕、植林で忙しかつたようですが、子どものために自分も教科書で勉強するなど、教育にも熱心に取り組みました。お祝いの席では「夢のようです。本当にあ



記念品を受け取るチヨエさん

りがとう」と語りました。高橋チヨエさん（江刺区稲瀬字水先）は金ヶ崎町に生まれ、17歳で故・輝実さんと結婚。養子を迎え、孫1人、ひ孫2人に恵まれました。大所帯に嫁いだため、家事がとても大変だったそうです。裁縫や編み物が得意で、一晩に息子の紋付きはかまを2腰仕上げたこともありました。今でも繕い物をしています。長寿の秘訣は何でも食べて水分や果物をよく取ること。今はひ孫と過ごす時間が楽しみです。

「おめでとー！百歳を祝い3人に記念品」

前沢地区連合振興会

（白鳥・前沢南・前沢中央・前沢北・前沢東・上野原の自治振興会等で組織）

■代表者：会長 三浦 清司

■人口：7,958人（男3,864人／女4,094人） ■世帯数：2,670世帯

■拠点：前沢地区センター（前沢区字七日町裏 131-1 ☎☎6776）

※白鳥・上野原・目呂木の各分館あり （平成24年3月31日現在）



市では、4月から地区センターと公民館を一元化し、地域活動の拠点とすることで、全市をあげた「協働のまちづくり」を本格的に推進していきます。

市内には地区センターを活動拠点とする30の地区振興会があり、それぞれの地域コミュニティ計画に基づき、特色ある事業を実施しています。市民の皆さん自らが知恵と力を合わせて地域づくりに汗していく姿は、昔から農作業などで行われてきた「結」と同様に、地域の連帯感に通じるものがあります。

このコーナーでは「結」を

タイトルに、振興会などの活動を紹介していきます。これらの活動を通して、さまざまなもの・人・地域をつなぎ、結ぶことが協働のまちづくりの第一歩です。

第1回の今回は、前沢地区連合振興会を紹介します。

前沢地区は、旧前沢町のうち、昭和30年の町村合併前の前沢町にあたります。前沢地区センターを活動拠点とし、6つの住民自治組織（振興会等）、30の行政区、36の自治公民館があります。

平成21年度に実施した地区内全世帯対象のアンケートをもとに、4つの基本目標と約200の事業を地域コミュニティ計画に盛り込みました。その中で昨年度実施した事業の一部を紹介します。

■地域のお宝を再発見するツアー

自分たちの地域を実際に見て歩き、現状と課題の把握、併せて地域の自慢できる事業や資源を掘り起こしました。平成23年10月2日に行われたお宝さがしの町探検には30人が参加。フリージャーナリストの内山二郎氏を講師に前沢中央地区内を5つのグループに分かれて実施しました。

参加者からは「埋もれた地域資源を再発見し自信を深めた」「魅力のあるまちだとあらためて感じた」との感想も。グループごとに作成したお



地図を片手にお宝探しをする参加者

■高校生主役のレストランがオープン

地産地消を基本に、地元の人と食材にこだわったレストランを県立前沢高校JRC部の生徒、食生活改善推進員協議会との連携により初めてオープンしました。

当日は、66人が来店。お客様からは「ボリュームがあるのにヘルシーでおいしかった」「高校生の頑張る姿に感激した」「ぜひ続けてほしい」と



高校生による心のこもったおもてなし

■あいさつポスター作成

元気で明るく安心・安全な地域を目指し、また地元学生との世代間交流と社会経験の場として、あいさつポスターを作成しました。

作成には、県立前沢高校と市立前沢中学校の美術部の生徒7人も参加。「愛さつでみんなを笑顔に」のキャッチコピー入りのポスター1300枚は、地区内に掲示され、あいさつ運動の推進に一役買っています。

好評でした。普段接することの少ない世代間による協働事業であり、今後も定期的な開催を計画しています。